

## SFC 政策研究支援機構寄附講座「地域協働とフィールドワーク」

開講日程 2015 年度 秋学期 水曜日 2 時限

担当教員 宮垣 元、坂倉 杏介

### 関連科目

- 【関連科目】 B6051:NPOの設立と経営
- 【関連科目】 10010:NPOの設立と経営
- 【関連科目】 C1033:コミュニティインベストメント
- 【関連科目】 40050:コミュニティインベストメント
- 【関連科目】 C1032:ソーシャルマーケティング
- 【関連科目】 B6032:ソーシャルイノベーション
- 【関連科目】 40040:ソーシャルマーケティング
- 【関連科目】 04030:ソーシャルイノベーション
- 【関連科目】 C1007:社会起業論
- 【関連科目】 65260:社会起業論
- 【関連科目】 30010:社会起業論
- 【関連科目】 C1028:都市計画とまちづくり
- 【関連科目】 C1027:まちづくり論
- 【関連科目】 30220:まちづくり論

開講場所 SFC

授業形態 講義、実習・演習、グループワーク

履修者制限 受入学生数（予定）：約 40 人

選抜方法：課題提出による選抜

### 【課題内容】

1) 履修を希望する理由、2) 関心がある、もしくは自ら構想し実践してみたいと考える地域協働／まちづくり／大学連携活動など、「地域に関わるプロジェクト」のテーマ（企画やアイデアなど）、の 2 点を A4×2 枚以内に記述する。

○エントリー締切日時：2015 年 9 月 28 日（月） 15:00

○履修許可者発表日時：2015 年 9 月 29 日（火） 15:30

使用言語 日本語

連絡先 gen@sfc.keio.ac.jp

学生が準備するソフト・機材 ノート PC、Word/Excel/PowerPoint など

## 科目概要

本寄付講座は、全国の社会イノベータが取り組むユニークな事例を通して、これからの地域づくりやコミュニティ活性化にむけた具体的方策、プロジェクト企画の方法を、実践的な観点から学ぶ。講義では、SFC 政策研究支援機構の助成を獲得し既に実践を行うプロジェクトを紹介したり、地域にイノベーションを引き起こす実践者をゲストにお迎えしたり、さらに地域活性化事例のケース教材等を使いながら、地域づくりの可能性や課題、解決策、そのなかで大学の役割などを議論する。

対象となる学生は、SFC 政策研究支援機構のフィールドワーク助成を既に受けている、もしくは検討している学生、実際に地域でのプロジェクト活動を計画または推進している学生、地域大学連携に関心のある学生などとする。最終成果として、地域の問題解決につながるプロジェクト計画書を作成し、その構想を授業内で発表する。これらを通じて、地域大学連携、地域再生をイノベータティブに推進するために必要な実践知を学ぶ。

## 授業シラバス

### 主題と目標／授業の手法など

地域大学連携をもたらすための具体的方策、プロジェクト企画の方法を学び、それを実際に推進するために必要な実践知を学ぶことを目的とする。SFC 政策研究支援機構のフィールドワーク助成を受けているまたは検討している学生、実際に地域でのプロジェクト活動を計画または推進している学生、地域大学連携に関心のある学生などを対象とする。ゲストスピーカーによる事例紹介とディスカッションやグループワークを盛り込む。最終成果として、地域の問題解決につながるプロジェクト計画書を作成し、その構想を授業内で発表する。

### 教材・参考文献

- ・ 國領二郎・飯盛義徳編, 2007, 『「元気村」はこう創る』 日本経済新聞出版社.
- ・ 飯盛義徳, 2009, 『社会イノベータ』 慶應義塾大学出版会.
- ・ 金子郁容・巖網林・国領二郎編著, 2010, 『社会イノベータへの招待 ―「変化をつくる」人になる』 慶應義塾大学出版会.

- ・金子郁容・玉村雅敏・宮垣元編著, 2009, 『コミュニティ科学 —技術と社会のイノベーション』 勁草書房.
- ・熊倉敬聡・坂倉杏介他著, 2010, 『黒板とワイン —もう一つの学び場「三田の家」』 慶應義塾大学出版会.
- ・西村仁志編・坂倉杏介他著, 2014, 『ソーシャル・イノベーションが拓く世界 —技身近な社会問題解決のためのトピックス 30』 法律文化社.
- ・その他、必要に応じ**ケース教材などを別途配布**

### 提出課題・試験・成績評価の方法など

授業では、SFC-SFS を活用し、適宜、レポートや感想の提出がある。また、グループワークやディスカッションを中心とした授業となるため、積極的な参加や発言が求められる。期末試験は行わず、最終成果としてプロジェクト計画書を作成、発表、提出する。

成績評価は、出席が 30%、クラスへの貢献（発言、小レポートの内容、グループワークへの参加、計画書の発表など）が 40%、最終課題の内容が 30%の割合で総合的に判断する。

### 履修上の注意

- ・本授業は、グループワークやディスカッションなど、かなりのワークロードを必要とする。そのため授業内容に強い興味、関心、情熱がある学生の受講を推奨する。
- ・授業内の発表ではプレゼンテーションソフトを用いる。
- ・ゲストスピーカーのご都合により、授業内容、日程等が変更されることがある。最新のスケジュールは授業時のアナウンスや SFC-SFS を確認すること。
- ・SFC 政策研究支援機構による研究助成を受けた学生グループ、またこの制度に関心のある学生には履修を強く促す。
- ・プロジェクト計画発表の講評を受け、グループワークの進捗に関して必要に応じ**オフィスアワー等**において個別相談を行う。

### 授業計画

#### 第1回 イントロダクション (担当：宮垣・坂倉)

本授業の目的、授業構成と内容、授業方法と評価についての説明、地域協働の必要性について概説、また SFC 政策研究支援機構の紹介を行う。

#### 第2回 「地域」と「私たち」をめぐって (担当：坂倉)

地域協働の背景について講義、グループワークの実施に向けて受講者の自己紹介とグループディスカッションを行う。

### 第3回 地域協働とコミュニティの諸問題（担当：坂倉）

コミュニティの捉え方についての伝統的な定義と情報社会における今日的な理解について、その醸成の課題と可能性についての講義、ディスカッションを行う。

### 第4回 地域イノベータとは何か？：新たな地域づくりの潮流（担当：坂倉）

前回講義の基本的理解を踏まえ、新しい地域づくりの実践とその考え方についての講義とディスカッション、企画のブレインストーミングを行う。

### 第5回 先輩たちの活躍1（担当：宮垣・坂倉ほか）

大学地域連携の実践事例である SFC 政策研究支援機構の背景とねらい、これまでの取り組みについて解説。第一線で活動を行う事例についてのゲスト講義を実施する。

### 第6回 先輩たちの活躍2（担当：宮垣・坂倉ほか）

SFC 政策研究支援機構の支援により現在取り組みを行っている活動（助成対象プロジェクト）について当事者からの報告と質疑応答、ディスカッションを行う。

### 第7回 プロジェクトの計画設計1（担当：坂倉）

受講生によるプロジェクト企画立案の発表（第1回）を実施し、受講生間のコメントとディスカッション、グループワークを行う。

### 第8回 地域イノベーション活動の事例研究1（担当：坂倉ほか）

ゲストもしくは先進事例を用いた講義（ゲスト講師のご都合により第8回か第11回に行う）、質疑応答とグループによるケースディスカッションを行う。

### 第9回 フィールドワーク実習（担当：坂倉）

フィールドワークの思想と方法について講義、フィールドワーク実施にあたっての注意事項の概説と実習を行う。

### 第10回 プロジェクトの計画設計2（担当：坂倉）

第7回のコメントと第9回の実習を踏まえ、プロジェクト企画立案（最終プレゼンター

ション) に向けたグループワークを進める。

第11回 地域イノベーション活動の事例研究2 (担当: 坂倉)

ゲストもしくは先進事例を用いた講義 (ゲスト講師のご都合により第8回か第11回に行う)、質疑応答とグループによるケースディスカッションを行う。

第12回 プロジェクト計画発表1 (担当: 坂倉・宮垣)

プロジェクト計画の最終プレゼンテーション (前半)、ディスカッションとピアレビューを行う。

第13回 プロジェクト計画発表2 (担当: 坂倉・宮垣)

プロジェクト計画の最終プレゼンテーション (後半)、ディスカッションとピアレビューを行う。

第14回 まとめ (担当: 坂倉)

前回までに発表したプロジェクト計画の全体講評を通して大学地域連携と地域イノベーションプロジェクトの可能性について考察し、ふりかえりを行う。

その他

グループワークによる課題の実施